

所属	一般教育科	氏名	土田 泰子 TSUCHIDA, Yasuko	
分野等	英語	職名	教授	
学位	博士（学術）	e-mail/URL	ytsuchida@nagaoka-ct.ac.jp	
キーワード	コミュニケーション、英語多読、生体信号計測			
研究分野	<p>主に視覚メディアによる表現とその受容に関する研究を行っています。特に、文字と図像による表現に着目し、人とメディアの間で起こるコミュニケーションの構造分析と可視化に着目しています。英語教育の分野では、英語多読により継続的な語学学習を行うための試みとして、効果的な導入方法について研究し、学習者が意欲的・主体的に学習を継続できるカリキュラムを検証しています。また、学習者がどのように英文を読むのかを客観的に分析するため、脳波や視線といった生体情報を計測して特性を明らかにする研究も行っています。</p>			
特別設備	<p>本校図書館には英語多読用の図書があります。英語多読は簡単な英語で書かれたものから読み始め、少しずつレベルアップしながらたくさん読むという読書法です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>英語多読コーナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>絵本もたくさんあります</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>視線と脳波の同時計測の様子</p> </div> </div>			
企業に向けて	<p>「伝える」と「伝わる」の間にあるもの、そして「伝わる」の先にあるものについて、メディアという観点から、受容システムという観点から、またコミュニケーションという観点から、検討しています。自社の広報や印刷物、広告について、第三者の視点から分析してみることはとても大切です。自社の長所を的確に表しているか、イラストや写真は適当か、わかりやすい表現を用いているか、連絡先はきちんと書かれているか、などの「伝える」部分が持つ要素に対して、情報の受け手がどのような反応をするのかを考えることは、大きな意味では社会システムの中での自社の位置付けを見直すことにつながります。</p> <p>研究分野と特別設備の項目で紹介している「英語多読」は、社会人にとっても有効な学習法です。ジョギングで心肺機能を高めるように、英語多読では脳が目から入った英文を情報として処理する能力をトレーニングします。たくさん読んで慣れることで、英文を読むことへの抵抗を減らします。日本語に訳すことなく、英語の語順のまま理解していくスキルが身に付くと、英文を読むスピードが格段に向上します。音声データのある多読図書を使うと、リスニングの能力も合わせて向上させることが可能です。英語多読ではレベル別に分けられた本を使って、やさしいレベルから読み始めます。辞書は使わず、文脈や挿絵から推測する経験を重ねて語彙を増やします。語彙が増えることで、英語で話したり書いたりする際の語彙も増えます。英語多読用に用意された図書を使用するのが効率的ですが、そのような図書を個人で用意するのは大変です。長岡高専の図書館や、長岡市立中央図書館の英語多読コーナーを活用すると、無理なく簡単に取り組むことができます。</p>			